

滋賀の祭礼「志賀八幡神社 秋まつり」

解説 南志賀みこし会

I. 概要

志賀八幡神社は京阪電車滋賀里駅から 100m ほど山手にあり、白鳳 9 年（669 年）創建と伝えられる。例大祭はかつて 9 月 15 日「敬老の日」に行われたが、現在は 9 月の第 3 日曜日に行われている。

神社には大宮と若宮、2 基の神輿があり、南志賀（滋賀学区）と滋賀里・蟻の内（唐崎学区）の氏子地域をそれぞれの神輿が巡幸する。みこしの担ぎ手（駕輿丁：かよちょう）が地域ごとに南志賀みこし会（以下みこし会と表記）、八護会を平成元年に結成し、今日に至るまで各々の地域での神輿渡御を担当している。大宮・若宮の受け持ちは毎年交互に入れ替わる。

南志賀・滋賀里・蟻の内の 3 地区がそれぞれ 6m を超す長さの竹鉾を製作し、神輿渡御に先立って志賀八幡神社に奉納することがこの例大祭における最も特徴的な行事である。

以下に例大祭の全体的な内容について、準備から後片付けまでを順に追って説明する。

II. 準備

a) みこし会・八護会

1. お祓い・神輿飾り付け・境内準備

例大祭 2 週間前の日曜日、朝からみこし会と八護会の役員が本殿前に集合しお祓いを受ける。その後神輿庫から神輿を運び出し、2 つの駕輿丁のグループがそれぞれ大宮・若宮の神輿に装飾を施す。神輿の飾り付けと並行して、境内の準備も行う。主にみこし会は境内の幟立てと松明用の杭打ちを担当し、八護会は松明の製作を担当する。神輿の飾り付けが終わると、神輿は神輿庫に一旦戻される。

2. 神輿拝殿上げ

例大祭の 2 日前、金曜日の夜に神輿庫から神輿を運び出し、拝殿に据える。2 基並べたところで拝殿に幔幕・注連縄を張り、さらに神輿の周囲に松明を並べ装飾する。例大祭当日、神輿を拝殿から下ろすまではこの状態で氏子に披露される。

b) 自治会（南志賀自治連絡協議会：連協）

1. 鉾組み

例大祭 1 週間前の土曜日に南志賀各自治会の役員が公会所へ集合し、竹鉾を製作する。竹鉾の長さは約 6.4m、根元の直径は 10cm ほどあり、上方に別の割竹で円と花卉状の飾りを組み、飾りの中心近くに洗米と塩を包んださらし布を取り付ける。竹鉾の飾りは南志賀・滋賀里・蟻の内で形状が異なる。この長大な竹鉾は他の神社でも例がなく珍しいものであるが、残念ながらその由来など



【蟻の内・南志賀・滋賀里の竹鉾】

は不明である。

2. 川砂の採取・太鼓縄締め・浜の御旅所と公会所の準備

前記の鉾組みと並行して、公会所に幔幕を張り、浜の御旅所・公会所等の盛り砂に使う砂を氏子地域内の河川より採取する。また子供神輿、大神輿ともに太鼓が先導するため、太鼓に担ぎ棒を縄締めする。浜の御旅所、公会所、南志賀三丁目の休憩所には笹竹を立て、注連縄を張る。

浜の御旅所は陸上自衛隊大津駐屯地の北西約 150m、際川に近い南志賀四丁目地内の私有地にあり、約 5m 四方の更地となっている。駐屯地が設置される以前は湖岸が御旅所となっており、そのまま担いでびわ湖に入っていたとのこと。なお、滋賀里地区の巡幸では志賀八幡神社から崇福寺へ通じる道の途中、千体地藏堂の横に山の御旅所がある。

c) 子供会

例大祭の当日朝、南志賀公会所にて子供会役員の手によって神輿が組み立てられ、完成後は台車に乗せて志賀八幡神社へ運ばれて拝殿前に並べられる。他の子供会を含め十数基の子供神輿が並び、拝殿上の大神輿と併せて大変壮観な眺めである。

III. 宵宮

例大祭前日の夕方頃から境内には 10 軒弱の夜店が立ち並びお祭りの雰囲気盛り上がる中、19時から滋賀里の子供神輿 4 基が松明とともに宮入し、伊勢唄を唄いながら拝殿の周囲を回る。20時からは本殿にて宵宮祭が執り行われる。

IV. 本宮（例大祭当日）

a) 本殿祭

9時に自治会・みこし会会長など関係者が志賀八幡神社に集合し、9時半から本殿祭が執り行われる。

b) 関係者集合

11時半に南志賀公会所へ子供を含む例大祭参加者全員が集合する。この時、鉾持ちと連協会長は袴姿に雪駄履き、駕輿丁（太鼓担当含む）は白襦袢に白の短パン、黒の地下足袋姿で集合する。大勢が集い賑やかになり、太鼓の音が鳴り響くと祭の雰囲気もより一層増してくる。太鼓のフレーズは右図の通りで、道中や宮入りでも力強く鳴らされる。皆が集まったところで、連協会長・みこし会会長の挨拶があり、その後みこし会は駕輿丁の肩合わせを行う。

また、大宮番の年には御祭神の依り代となる御幣（ごへい）を持つ「御幣持ち」として、小学校高学年の男子 1 名が袴を着用して祭礼に加わる。

志賀八幡神社お祭り太鼓

ドン フク ト ド フク

ス ト ド フク

黒丸は、左手で
大きいまるは、強くたたく

【太鼓のフレーズ】

c) 石鳥居前参集

12時頃、竹鉾を先頭に太鼓、御幣持ち、お稚児さん、子供会、みこし会の順に行列を組んで公会所を出発。南志賀・滋賀里・蟻の内の関係者全員が神社東側の石鳥居前へ集合する。

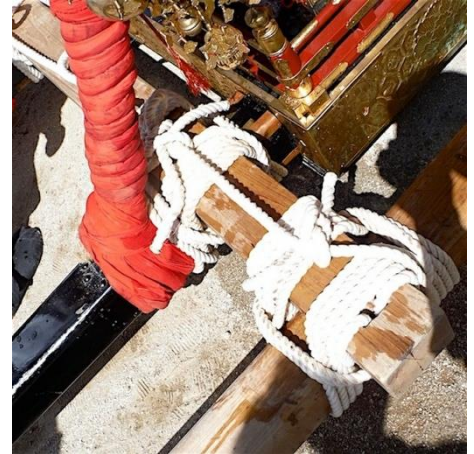
d) 鉾の奉納

参道奥の石段下まで竹鉾が進み、鉾を立てた状態で揃ってお祓いを受ける。その後南志賀・滋賀里・蟻の内の順に竹鉾を立てたまま石段を登り、本殿脇の所定の場所へ奉納する。

竹鉾の奉納が終わると、子供会は拝殿前の子供神輿と共に各自治会へ戻り、神輿の渡御を行う。

e) 御霊うつし神事

次いで拝殿にて宮司・巫女・御幣持ちによる御霊（みたま）うつし神事が行われる。神事のあと拝殿から神輿を下ろし、神輿本体の黒棒よりも長い担ぎ棒（白棒）を縛る。この時、縄の終端は緩みにくい「男結び」で縛り、さらに道中で解けることのないように縄の余剰部分を隣の結び目の余剰部分と結び合わせる。最後に縄の部分がさらに締まるように、結び目の部分を手で覆った上で水をかける。



【担ぎ棒（白棒）の縛り】

f) 神輿渡御

13時半頃より大宮を先頭に神社を出発する。ここからは大宮・若宮の神輿は南志賀、滋賀里それぞれ別のルートを渡御する。担ぐ時の掛け声は基本的に「ワッショイ、ワッショイ」であるが、細い道など注意が必要な場所では「ヨイヨイ、ヨイヨイ」の掛け声で抑え気味に巡行する。南志賀では総距離約7km弱（台車移動含む）を6時間半かけて渡御し、道中で氏子からのご献酒の奉納を受ける。この時奉納いただいた家の



【道中での差し上げ】

前で担いだまま神輿を振って鳴らしたり（シャンシャンする）、上方へ高く差し上げて振ったりして奉納に応える。また浜の御旅所を含む道中13カ所で、飲み物や軽食などのお接待を受け、場所によっては皆で伊勢唄を唄う。出発前には会長による御礼の言葉に続き、全員で三本締めをして感謝の意を表す。浜の御旅所での神事では、

神輿に御幣を捧げ献饌をし、志賀八幡神社の宮司によるお祓い・祝詞奏上に続いて参列者代表による玉串奉奠が行われる。

g) ご還幸～宮入り

18時半過ぎに2基の神輿は石鳥居前に戻ったあと、19時に本殿前にて種火を授かり、石鳥居前で手持ちの松明にそれぞれ火を移す。大宮、若宮の順で松明と共に参道を上がり、道沿いに立てられた松明に点火して



いく。ここからが例大祭のクライマックスで、神輿を激しく振りながら約 100m の参道を 20 分かけて練り歩き、勢いを保ったまま石段を駆け上がった後は拝殿を 2 周し、のちに拝殿の正面で神輿を下ろす。

h) 神輿納め～伊勢唄奉納

神輿を下ろすと直ちに担ぎ棒が外され、神輿庫へと納められる。この時、神輿庫の中では御霊うつし神事が行われ、その後大宮番の会長が音頭を取って駕輿丁全員で伊勢唄を唄う。なお、何節かある伊勢唄の中でもこの時だけは「数え唄」が唄われ、唄が

【伊勢唄】一部抜粋と数え唄（括弧内は相づち）

サーヨロオ オイナエ
めてためたの（ソリヤセー）
あー若杉さまよー
（コリリヤヨイセー ソーリヤセー）
ああ枝も栄えてコリリヤ 葉も繁るよー
（☆コリリヤヨセセノヨー ドッコイセー
ヨーイーヤーナー アレワイサー
コレワイサーデ コーリリヤヨイトセー）

サーヨロオ オイナエ
めてためたの（ソリヤセー）
あーめたいと申すなら
正月 門松 春を待つ（ソーリヤ）
お茶屋のおばさん客を待つ（ソーリヤ）
私は皆さんのソーヤレ 唄を待つよー
（☆印 繰り返し）

サーヨロオ オイナエ
めてためたの（ソリヤセー）
あーめたいと申すなら
年の初めのあらたまの 松を樂しむ正月や
はや二月の色梅や 三月盛りのおいと桜
人も見上げる四月藤 五月の梅雨に咲く花は
あやめならいでかきつばた
六月牡丹に蝶が舞う 七月野原に咲く萩の
照らす八月田ごと月 心地よく見る九月菊
十月もみじに鳴く鹿の 十一月の垂れ柳
風に吹かれて末長く 十二月の果てまでも
ハ幡さまのいやさかえ
敬うてこころアソーヤレ 納めおーくよー
（☆印 繰り返し）

終わると解散となる。

V. 後始末

a) 神輿片付け

例大祭の翌日、神輿庫に一旦納めた神輿を出し、不具合や紛失した装飾の有無を確認しながら装飾類を外し、再度神輿庫へ納める。

b) 直会

同日の夕方、南志賀公会所にてみこし会主催の直会が盛大に開催され、参加した駕輿丁・関係者同士が労をねぎらい、親睦を深める。

VI 参考文献

志賀八幡神社社務所 「御創建千三百年記念 志賀八幡神社」 昭和 55 年 1 月

大津市歴史博物館 「志賀八幡神社の秋祭り調査報告」 『研究紀要 25』 令和 2 年 2 月

VII 最後に...

ささやかな秋祭りですが、渡御中に手厚いお接待を受けながら昼から夜まで存分に神輿を担げます。氏子地域在住にこだわらずどなたでも参加していただけますので、皆さまの参加をお待ちしています！